

燕市生涯学習に関する 市民意識調査結果（概要版）

平成27年2月

燕市教育委員会
社会教育課

生涯学習市民意識調査(燕市教育委員会調査)

<調査目的>

第2次燕市生涯学習
推進計画策定の基礎
資料とする

<調査対象>

市内在住の20歳以上**2,000**人
有効回収数**1,096**人(有効回収率54.8%)
前回: 1,173人(有効回収率58.6%)

<調査時期>

平成26年9月1日～16日
前回:平成18年8月23日～9月4日

調査内容

1 生涯学習の現状等

- 生涯学習のイメージ(p6 問2)
- 余暇として使える時間、過ごし方(p8 問3-1～p12 問3-3、p14 問4)
- 学習や活動の必要性(p16 問5)
- 学習や活動の実施の有無、活用方法等(p18 問6、p20 問7-1～p32 問7-7)
- 学習や活動をしなかった理由(p34 問8)
- 学習や活動の情報の取得方法(p48 問11)

2 生涯学習に対する今後の意向

- 学習や活動の今後の意向(p36 問9)
- おこないたい学習や活動の内容、活用方法等(p38 問10-1～p46 問10-5)
- 今後、提供してほしい情報(p50 問12)

3 ボランティアについて

- これまでやったことのあるボランティア活動の内容等(p52 問13-1～p54 問13-2)
- 今後のボランティア活動の意向、内容(p56 問14-1～p58 問14-2)
- ボランティア活動を推進するために必要なこと(p60 問15)

4 生涯学習の振興方策、満足度

- 施設などへの希望、要望(p62 問16)
- 燕市が力を入れる生涯学習の振興策(p64 問17)
- 市民の生涯学習の満足度(p66 問18)

5 自由意見・要望(p68 問19)

(注)本文中のページ、問は「生涯学習に関する市民意識調査報告書」と対応します。

調査
結果

1

○この1年間に学習や活動をおこなった人の割合【p18 問6】

前回調査より増加し5割を超えた。(平成18年度:48.8%→平成26年度:50.1% +1.3%)

※燕市は新潟県(37.5%)より高く、全国(57.1%)より低い。

○この1年間に学習や活動した内容【p20 問7-1】

・「趣味に関すること」38.4%が最も多く、次いで「職業上の知識や技術に関すること」33.0%、「スポーツやレクリエーション」27.5%と続く。

・前回調査と比較して、「自治会・女性団体・PTA・子ども会など地域活動」が増加。(平成18年度:17.5%→平成26年度:24.6% +7.1%)

○学習や活動の方法【p24 問7-3】

・「図書・新聞・雑誌・テープ・DVDなど」36.4%が最も多く、次いで「テレビ・ラジオで」22.0%、「自治会・女性団体・PTA・子ども会などの活動で」21.9%と続く。(平成18年度:16.9%→平成26年度21.9% +5.0%)

・「同好のサークルやグループで」は前回より減少(平成18年度:24.4%→平成26年度18.0% -6.4%)

・「インターネット」は前回より増加。(平成18年度:12.7%→平成26年度:19.7% +7.0%)

・前回調査と比較して、「自治会・女性団体・PTA・子ども会など地域活動」が増加。(平成18年度:16.9%→平成26年度:21.9% +5.0%)

分析

2

○社会への貢献意欲や地域活動への参加意欲が徐々に高まっている。(問7-1から)

○同好のサークルやグループでの学習、活動が減少。(問7-3から)

○地域が提供する学習の場の増加。(問7-3から)

課題

3

○市民の学習ニーズの把握 ○サークル化への支援

○学習活動や学習施設などの情報の収集と提供

施策の
方向性

4

○生涯学習の情報提供と相談体制の充実 ○ライフステージに応じた学びの推進

○現代的課題に対応する学習機会の充実

(注)調査結果の百分率(%)は、「全体」を表記。以下のシートも同様。

1 生涯学習の現状等 1-2 生涯学習の成果の活用について

調査結果 1

○学習や活動の成果の活用方法【p30 問7-6】

・「自己の充実や自分の生活の改善などに活用」**49.9%**が最も多く、次いで「自分や家族の健康のために活用」**30.1%**、「会社など職業の中で活用」**25.5%**と続く。

・前回調査と比較して、「自治会・女性団体・PTA・子ども会など地域活動で活用」は増加したものの**16.2%**に留まる。

(平成18年度：**12.7%**→平成26年度**16.2%** +3.5%)

・前回調査と比較して、「ボランティア活動など社会貢献に活用」は減少。

(平成18年度：**12.7%**→平成26年度：**11.7%** -1.0%)

分析 2

○おこなった学習や活動の成果は、自分、家族のための活用が多く、自治会等の地域への還元はまだ少ない。

課題 3

○団体や人材についての情報提供とその活用を広げる仕組みづくり

○学習成果を活かした新たな指導者の育成及びサークル化へ向けた支援

○市民活動の推進による魅力的なまちづくり

施策の 方向性 4

○学習支援のための人材育成と活用

○学習成果の活用の中と機会の提供

○生涯学習情報の提供と相談体制の充実

○学習ニーズに即した生涯学習関連施設の機能の充実

調査
結果

1

○学習や活動の情報取得方法【p48 問11】

- ・「広報紙」**46.0%**が最も多く、次いで「新聞・雑誌・ミニコミ誌」**29.8%**、「友人・知人から」**19.8%**と続く。
- ・前回調査と比較して、「インターネット(市ホームページなど)」が増加。
(平成18年度:**7.8%**→平成26年度**12.9%** +5.1%)
- ・前回調査と比較して、年代別でも「インターネット(市ホームページなど)」が、70歳以上を除く20歳代～60歳代のすべての年代で増加。
(平成18年度:20歳代**22.0%**、30歳代**13.7%**、40歳代**12.0%**、50歳代**5.2%**、60歳代**1.7%**、70歳代**0.9%**
→平成26年度:20歳代**29.3%**、30歳代**18.3%**、40歳代**17.9%**、50歳代**17.3%**、60歳代**8.9%**、70歳以上**0.8%**)

分析

2

- 紙面による情報の取得は大きな割合を占めている。
- 情報を得る方法としてインターネットは有効。公民館等の地域の施設の利用率が低い若年層に向けては、特に有効。

課題

3

- 市民の学習ニーズの把握
- 学習活動や学習施設などの情報の収集と提供

施策の
方向性

4

- 生涯学習情報の提供と相談体制の充実

2 生涯学習に対する今後の意向

調査
結果

1

○今後、学習や活動をおこなうことについて【p36 問9】

・「おこないたいと思う」**26.9%**、「どちらかといえばおこないたいと思う」**44.3%** を合わせると **71.2%** で高い傾向。(平成18年度：**79.1%**→平成26年度：**71.2%** -7.9%)

・この1年間に学習や活動をした人のほとんどが、今後への意欲を持ち続けており、学習や活動をしなかった人であってもその5割以上は学習意欲を持っている。(学習経験あり 平成18年度：**94.4%**→平成26年度：**88.5%** -5.9%/学習経験なし 平成18年度：**64.7%**→平成26年度：**54.0%** -10.7%)

○今後、おこなおうと考えている学習や活動【p40 問10-2】

・「趣味に関すること」**46.2%** が最も多く、次いで「健康管理に関すること」**36.5%** と続く。

・前回調査と比較して、「自治会・女性団体・PTA・子ども会など地域活動に関すること」が増加。(平成18年度：**8.8%**→平成26年度：**13.2%** +4.4%)

・前回調査と比較して、「情報通信(パソコン・インターネット)に関すること」が50歳代～70歳以上で増加。(平成18年度：50歳代**18.5%**、60歳代**12.4%**、70歳以上**4.3%**→平成26年度：50歳代**20.0%**、60歳代**20.3%**、70歳以上**7.4%**)

・子育て世代では「子どもの育児・教育に関すること」が比較的高い傾向にある。(30歳代**25.0%**、40歳代**20.9%**)

分析

2

○学習や活動を始めれば継続的な生涯学習につながりやすい。(問9から)

○地域のコミュニティづくりの基盤となる「共助」に対する意識の高まりがうかがえる。(問10-2から)

○高齢層のインターネット社会に乗り遅れたくないという意識が高い。(問10-2から)

課題

3

○人からまちづくりにつながる体系を備えた学習機会の提供 ○家庭や地域の教育力の低下

○市民ニーズと社会状況にあった的確な学習機会の充実 ○市民活動の情報提供や相談体制の充実

施策の
方向性

4

○ライフステージに応じた学びの推進

○学習支援のための人材育成と活用

○生涯現役でいるためのからだづくりの推進

○芸術文化活動の活性化

○現代的課題に対応する学習機会の充実

○家庭教育の充実

○スポーツ推進体制の充実

○郷土の歴史・文化の理解

3 ボランティアについて

調査
結果

1

○これまでやったことのあるボランティア活動【p52 問13-1】

・「ボランティア活動はしたことがない」**37.8%**が最も多く、次いで「学校への協力などの活動」**21.2%**、「自然・環境に関する活動」**19.7%**と続く。

・前回調査と比較して、「学校への協力などの活動」が増加。（平成18年度：**15.8%**→平成26年度：**21.2%**+5.4%）

○ボランティア活動をしたことがない理由【p54 問13-2】

・「きっかけがない」が**39.6%**と最も多い。

○今後のボランティア活動の意向【p56 問14-1】

・「どちらかといえばしたい」を加えれば約半数の人が「したい」と回答。

（ぜひしたい**7.7%**+どちらかといえばしたい**40.8%**=**48.5%**）

○今後ボランティア活動を充実するために必要なこと【p60 問15】

・「特に希望はない」**42.5%**を除くと、「ボランティアに関するグループや情報の提供」**32.2%**が最も多く、次いで「ボランティア養成講座の実施、充実」**10.8%**と続く。

分析

2

○ボランティアに興味がない人も多いが、ボランティアに関する情報提供があれば、ボランティア活動につながりやすい。（問13-1、問14-1、問15から）

○学校への協力意識の高まりがうかがえる。（問13-1から）

課題

3

○家庭における教育力の向上を社会全体で支援する環境づくり

○保護者や地域の人々が連携して学校を支援する取り組みの推進

○ボランティアに関するグループや情報の提供

施策の
方向性

4

○現代的課題に対応する学習機会の充実

○地域教育力の向上

○生きる力を育む青少年教育の充実

4 生涯学習の振興方策、満足度

調査結果 1

○学習や活動をおこなうための施設などへの要望、希望【p62 問16】

・「誰でも気軽に参加できるような講座や行事、イベントを増やしてほしい」**45.3%**が最も多く、次いで「生涯学習や活動の機会について情報をもっと提供してほしい」**22.3%**と続く。

○今後、市民の学習や活動を盛んにするために燕市が力を入れるべきこと【p64 問17】

・「学習や活動をおこなう施設における講座、事業などの情報提供を充実する」**25.8%**が最も多く、次いで「学習や活動をおこなう施設における講座を充実する」**24.4%**、「住民のニーズや満足度などを把握し、反映させる」**23.9%**と続く。

○生涯学習(学習や活動)に関する現在の市のサービス・取り組みの満足度【p66 問18】

・約7割が特に満足、不満がない。⇒興味がない。

(わからない**37.0%**+どちらともいえない**36.9%**=**73.9%**)

・前回調査と比較して、若干満足度が上がり、不満が少なくなっている。

(平成18年度:満足**10.9%**、不満**6.3%** →平成26年度:満足**11.8%**、不満**3.9%**)

分析 2

○生涯学習につながる講座などの開催やその情報提供の要望が多い。(問16、問17から)

○前回調査と同様に、市の生涯学習の取り組みについて興味がない人が多い傾向にあるが、不満が少なくなっている。(問18から)

課題 3

○講座、行事、イベント等の見直し・充実

○市民の学習ニーズの把握

○学習活動や学習施設などの情報の収集と提供

施策の 方向性

4

○現代的課題に対応する学習機会の充実

○生涯学習情報の提供と相談体制の充実